

5. 第15期の全体会議の活動目標 (1) -1 市民部会

【第15期の活動目標】

「流域連携」をテーマに以下の3つの活動目標を設定する。

<テーマ>	<活動目標>
食と農業	<ul style="list-style-type: none">○ 食と農業に関する情報共有や活動を目的としたチームを作成し、その内容をWGで情報共有・意見交換する。○ 公開講座として流域市民の方への発信も検討する。
地域部会と連携	<ul style="list-style-type: none">○ 地域部会と連携して流域の課題を流域市民の方に知っていただく機会を設ける。○ 矢作川流域圏懇談会の活動や矢作川流域の課題を流域市民の方に発信していくために地域部会と連携して「農業」、「海の現状・課題」をテーマとしたイベントを開催する。
新たなつながり	<ul style="list-style-type: none">○ 矢作川流域圏懇談会のネットワークを活用して流域内外で新たなつながりを広げる。○ 流域圏懇談会の活動と関連する団体・個人への訪問・招待やイベント参加などを引き続き行っていく。(矢作川感謝祭・三河湾大感謝祭等)○ 流域内の外部団体と連携を強化していき、流域のことを知っていただく場を設けて大学や市民の方も巻き込んでいく。

5. 第15期の全体会議の活動目標 (1) -4 海部会

【第15期の活動目標】

「豊かな海」や「海と人との絆」の再生に向けた様々な取り組みについて情報共有・意見交換を行うとともに、流域圏全体に関わるごみ問題や土砂の問題についても、今後外部に発信していくことを念頭において、他部会や外部団体との連携をはかる。

<テーマ>

<目標>

豊かな海の再生に
向けた取り組み

- 海の栄養塩不足に関する対策に関する（干潟・浅場造成や浄化センターでの試験運用など）の情報共有および意見交換を行う。
- アサリやノリをはじめとする三河湾の生物資源回復に向けた具体的な取り組みに関する意見交換を行う。
- 伊勢湾・三河湾の環境改善に取り組む種々の団体との交流・情報交換を積極的に行う。

海と人との絆再生

- 一般市民に海の現状や課題を正しく伝えるために、市民部会とも連携して市民が参加しやすいイベントを開催する。
- 海と陸域との関係性の理解を深めるため、他部会との連携を一層進めるとともに、海部会への参加者を増やす。
- 三河湾大感謝祭などの地域イベントを通じて海と人との絆の重要性を啓発する。

ごみの問題

- 三河湾だけでなく、より広い範囲でごみ問題に関わる活動との連携を継続していく。
- 岐阜・愛知・三重の海洋ごみに対する検討状況について情報共有するとともに、矢作川流域圏のごみ問題に関する状況等の情報交換を行う。

土砂の問題

- 河川の治水事業や干潟・浅場造成事業の状況を把握するとともに、他部会との情報共有および意見交換を行う。
- 出水に伴う土砂流出についても情報共有し、総合的な土砂問題に関する公開講座について検討を始める。